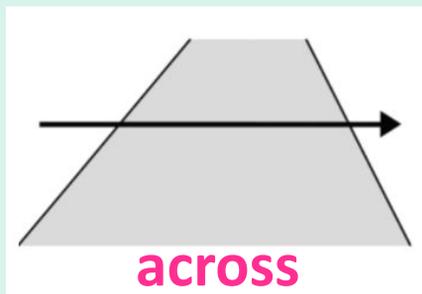


<前置詞> acrossの世界

CORE IMAGE



平面を横切って

There's a post office across the street.



across は基本的には「移動の経路」を表す前置詞で、「...を横切って」で道路を横断するイメージがあります。across のコアは「平面を横切って」ということです。

平面でない線や障害物が対象の場合には across は使えません。He walked across the road. だと道路が歩行のためにあるもので自然な表現ですが、He walked across the mountain. といえば山は歩行の障害物なので不自然な表現です (walk over the mountain なら自然)。



He walked across the road.

彼は道路を横切って歩いた

このように「移動」を伴う用法が基本ですが、across には「(移動した)向こう側に」「(横切るように)交差した状態で」という使い方もあります。There's a post office across the street (from here). といえば「(こちらから)道の向こう側に郵便局がある」ということで、道の手前に話し手と聞き手がいて、道路の向こうの郵便局を指差しているという状況が想像できます。There is a tree across the road. の場合は、「道路の向こう側に木がある」と「道路を横切って木が倒れている」の2つの解釈があります。前者は視点が関与する表現で、後者は状態を示す表現です。



There's a post office **across** the street (from here).

(こちらから)道の向こう側に郵便局がある

①



There is a tree **across** the road.

②



- ①道路の向こう側に木がある
- ②道路を横切って木が倒れている

What are you doing lying across your bed like that? といえば、どんな状況でしょうか。「そんな格好でベッドに横たわって何しているの?」というのがこの表現の意味合いです。ベッドの縦ではなく横に寝そべっている様子が **lying across your bed** です。これは「状態の across」の例です。また、**He has a scar across his face.** (彼の顔にはほおを横に走る傷がある)のような使い方も同じです。



What are you doing lying **across** your bed like that?

そんな格好でベッドに横たわって何しているの?



He has a scar **across** his face.

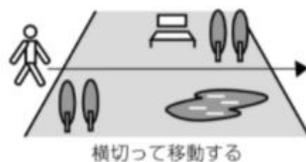
彼の顔にはほおを横に走る傷がある

さらに across には **People gathered here from across the country.** (人々が国中からここに集まった)のような使い方もあります。「いろいろなところから横切ってやってきた」という意味合いです。

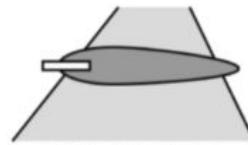


People gathered here from **across** the country.

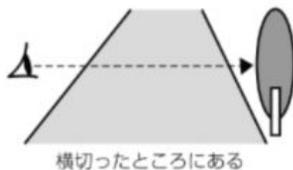
人々が国中からここに集まった



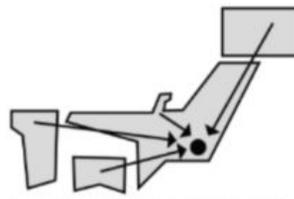
横切って移動する



横切った状態にある



横切ったところにある



国の端から端まで(横切るような).
いたるところから

なお、日本語の「...の向こうに」に対応する英語前置詞として across, over, on the other side of があります。それぞれの特徴は、次のようなものです。

across:

「平面を横切ったところに」の意。

線や自由に横断できないような障害物が対象物のときは across は使えない。

over:

「障害物を越えたところに」の意で対象は障害物。

対象物が単なる平面や線の場合 over は使えない。

on the other side of:

「向こう側に」の意。

こちら側と向こう側を分ける境界(線・平面・障害物)があるとき用いる。

across の場合は「...を横切って」が基本であるため、対象が平面であること、そして平面を移動する際に障害がないこと、の2つがその使用条件となります。そこで、「その白線のむこうに財布がある」という状況では across は使えず、There is a wallet on the other side of the white line. と on the other side of を用います。それは on the other side of が「こちら」と「あちら」を区別する何かがあれば、それが線であれ、面であれ、障害物であれ、自由に使用することができるからです。一方、over の場合は、「越えていった向こうに」ということなので、道路の向こうに桜の木がある、という状況では、使用することができません。道路は移動上の障害物とは見なされないからです。そこで、**There is a cherry tree across the street.** と表現します。一方、壁の向こうに何かがあるという状況だと、over の役割になります。もちろん、on the other side of は壁などでも使用可能です。



There is a cherry tree **across** the street.

道路の向こうに桜の木がある